

研究者プロフィール

生物応用化学科 Dept. of Biochemistry and Applied Chemistry — 生物工学 Bioengineering —

富岡 寛治 TOMIOKA Kanji [学位：博士（工学）]

研究業績（論文・著書・その他の活動）



- [1] Use of peptide immunization for porcine insulin of a very high homology with a host protein (1996)
- [2] パーオキシダーゼ包括イムノリボソームを用いる免疫測定法の高感度化 (2002)
- [3] リボソームを用いる抗原の競争的免疫測定法 (2005)
- [4] 産学民連携共同教育による実践的技術者育成 (2008)

企業で16年間勤務した後、久留米高専に来て10年になります。企業の時の仕事（研究開発）も、高専での研究、教育も全て同じだと考えています。「何をどう考えて、どのように転がしていくか。」が全てに渡って共通しているエッセンスだと思います。あるいは、PDCAを如何に回していくか、と言い換えてもいいかもしれません。コバルト錯体の構造解析から始まって、合成繊維の開発研究、人工臓器、均相系免疫測定法、菌体からの有用物質抽出、生ゴミ分解菌の検討、弥生人骨からのDNA抽出と配列決定、新規男女判別方法の開発まで、分野は多岐にわたっていますが、貫かれている思想は、「ロジックの展開」です。これまでのある部分は、秘密保持の点から開示できませんが、生物と化学に関連することであれば、何を持ってこられても共同研究の対応いたします。

研究分野キーワード

単結晶 X線構造解析, 免疫測定, プロセス改善・革新, 合成繊維, DNA抽出, SEM, 顕微鏡観察, 粉体破碎